

1 調査概要

本調査は、第3次飯南町総合振興計画・第3期飯南町総合戦略の策定にあたり、町民の生活実態に関する意識やニーズ、施策に関する意見等を把握し、飯南町における行政課題を分析することにより、計画の基本方針や施策の立案に向けた基礎資料とすることを目的とする。

調査期間	令和5年10月1日～令和5年10月15日
調査対象	町内在住の18歳～81歳の男女
標本数	1,500人
抽出方法	住民基本台帳の対象年齢層から無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収調査
有効回収数	819件（回収率54.6%）

■回答者属性

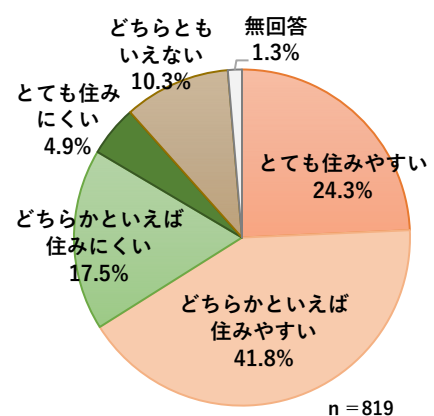
年代	回答数	割合
10代	6	0.7%
20代	23	2.8%
30代	30	3.7%
40代	57	7.0%
50代	93	11.4%
60代	243	29.7%
70代	334	40.8%
80代	24	2.9%
無回答	9	1.1%
合計	819	100.0%

地区	回答数	構成比
赤名	205	25.0%
谷	34	4.2%
来島	208	25.4%
嶺原	270	33.0%
志々	83	10.1%
無回答	19	2.3%
合計	819	100.0%

2 調査結果

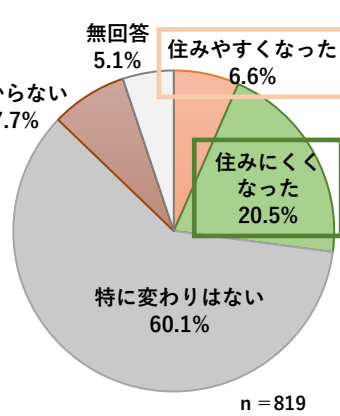
(1) 飯南町での生活について

① 飯南町の住みやすさ 問11 SA



●「住みやすい」と感じている方が約7割。  
 （「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計）

② 飯南町の住みやすさの変化 問13 SA



●「特に変わりはない」と感じている方が最も多く約6割、「住みにくくなった」と感じている方は約2割。「住みやすくなった」と感じている方は約1割。

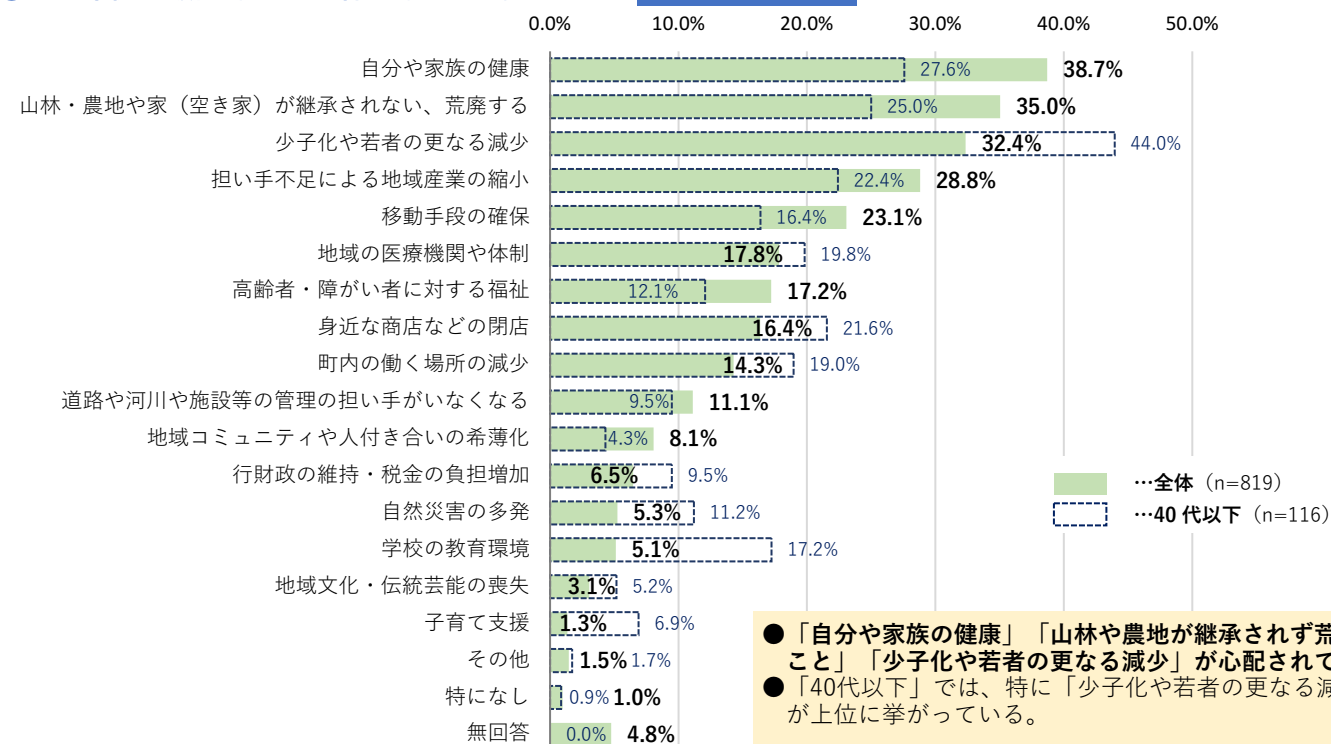
住みやすくなった理由 (n=54)

地域のつながり、人との関わりが良くなった 14.8%  
 長年住んで慣れてきた 11.1%  
 道路、水道、ネット等のインフラが整備された 7.4%

住みにくくなった理由 (n=168)

人口減少、若者の減少・高齢化 28.6%  
 買物、銀行、ガソリンスタンド等の施設の減少、営業時間の短縮 28.0%  
 交通機関の不足 15.5%

③ 10年後の飯南町での生活に対する心配ごと 問30 MA (3つまで)

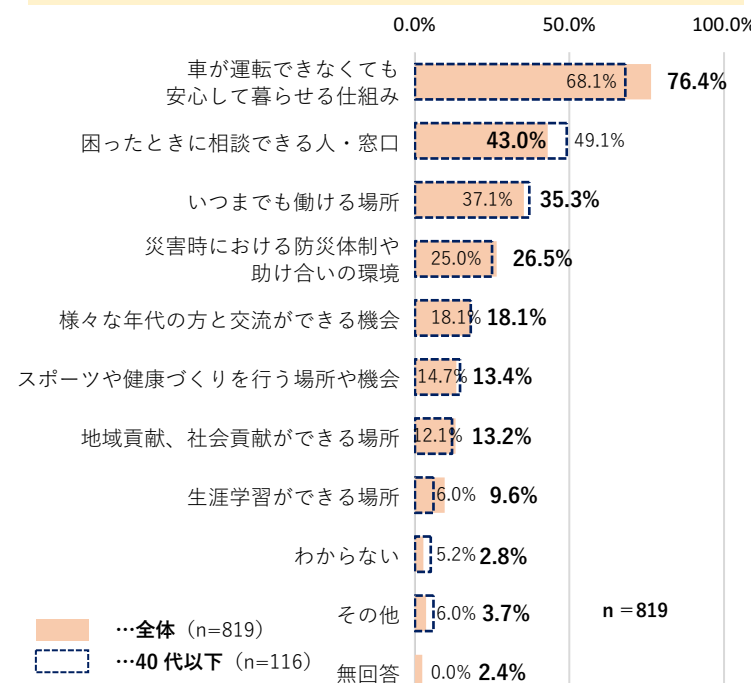


●「自分や家族の健康」「山林や農地が継承されず荒廃すること」「少子化や若者の更なる減少」が心配されている。  
 ●「40代以下」では、特に「少子化や若者の更なる減少」が上位に挙がっている。

合計	自分や家族の健康	高齢者・障がい者に対する福祉	学校の教育環境	子育て支援	地域の医療機関や体制	少子化や若者の更なる減少	担い手不足による地域産業の縮小	町内の働く場所の減少	身近な商店などの閉店	移動手段の確保	人付き合いの希薄化	地域コミュニティや人付き合いの希薄化	行財政の維持・税金の負担増加	自然災害の多発	学校の教育環境	地域文化・伝統芸能の喪失	子育て支援	その他	特になし	無回答
全体(N=819)	38.7	17.2	5.1	1.3	17.8	32.4	28.8	14.3	16.4	23.1	8.1	3.1	5.3	11.1	35.0	3.1	1.3	1.5	0.9	4.8
20代以下(n=29)	24.1	10.3	17.2	10.3	13.8	41.4	20.7	17.2	31.0	13.8	0.0	6.9	20.7	10.3	17.2	6.9	10.3	10.3	10.3	6.9
30代(n=30)	36.7	10.0	26.7	10.0	20.0	46.7	20.0	20.0	23.3	10.0	3.3	3.3	6.7	3.3	33.3	13.3	10.0	10.0	10.0	6.7
40代(n=57)	24.6	14.0	12.3	3.5	22.8	43.9	24.6	19.3	15.8	21.1	7.0	5.3	8.8	12.3	24.6	8.8	21.1	21.1	21.1	8.8
50代(n=93)	36.6	11.8	5.4	3.2	20.4	30.1	33.3	20.4	14.0	23.7	5.4	3.2	6.5	16.1	31.2	11.8	23.7	23.7	23.7	6.5
60代(n=243)	39.1	19.8	3.7	0.0	20.2	32.5	29.2	13.2	16.5	24.7	4.9	3.3	4.9	10.3	38.3	6.6	24.7	24.7	24.7	4.9
70代(n=334)	41.3	17.4	2.4	0.0	15.3	30.2	29.9	12.0	14.4	24.3	12.3	1.8	3.3	10.5	36.8	3.9	24.3	24.3	24.3	3.3
80代(n=24)	66.7	29.2	0.0	0.0	12.5	25.0	25.0	8.3	20.8	12.5	8.3	8.3	4.2	20.8	37.5	4.2	12.5	12.5	12.5	4.2

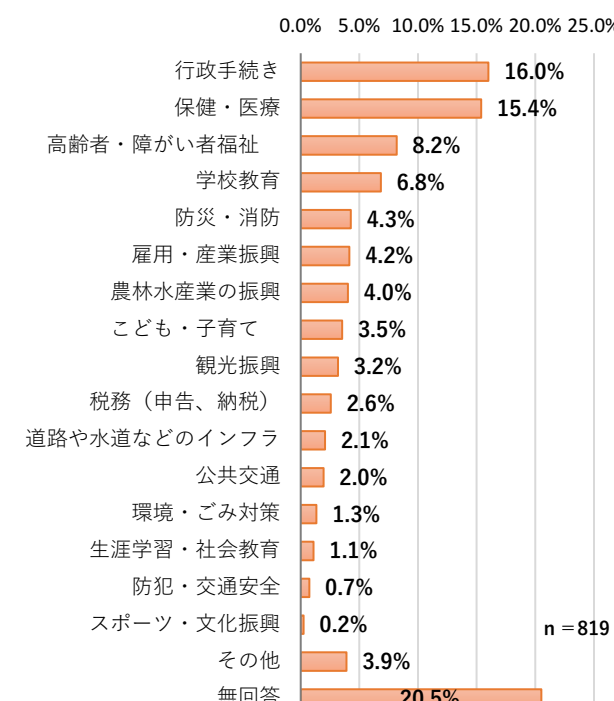
④ 暮らし続けるために重要な事項 問18 MA (3つまで)

●「車が運転できなくても安心して暮らせる仕組み」が全体で約8割、40代以下では約7割。

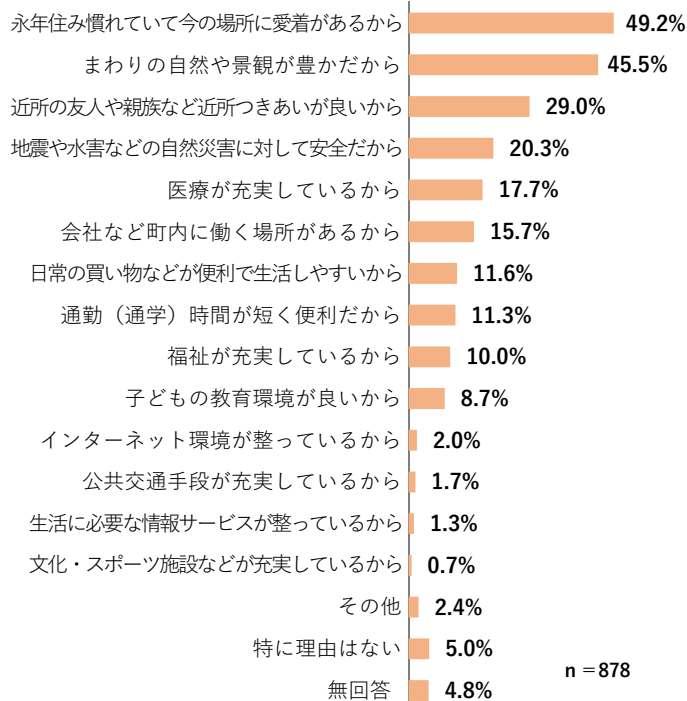


⑤ デジタル化が進むことを特に期待する分野 問26 SA

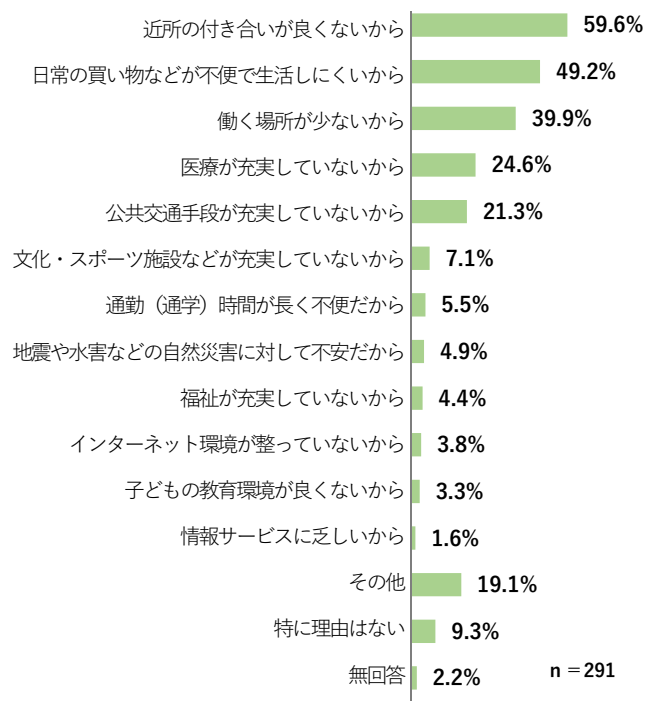
●「行政手続き」「保険・医療」がそれぞれ約2割。



① -1. 住みやすいと思う理由 問11-1 MA (3つ)



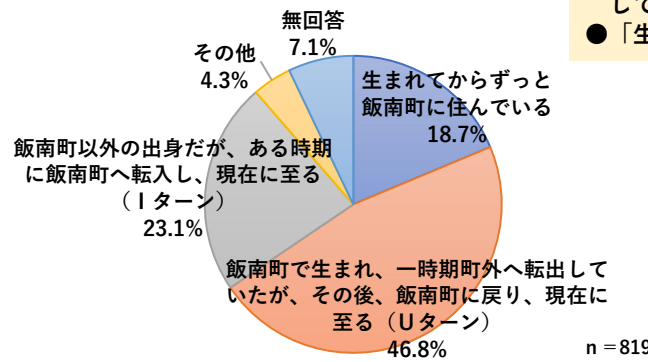
① -2. 住みにくいと思う理由 問11-2 MA (3つ)



(2) 人口減少対策について

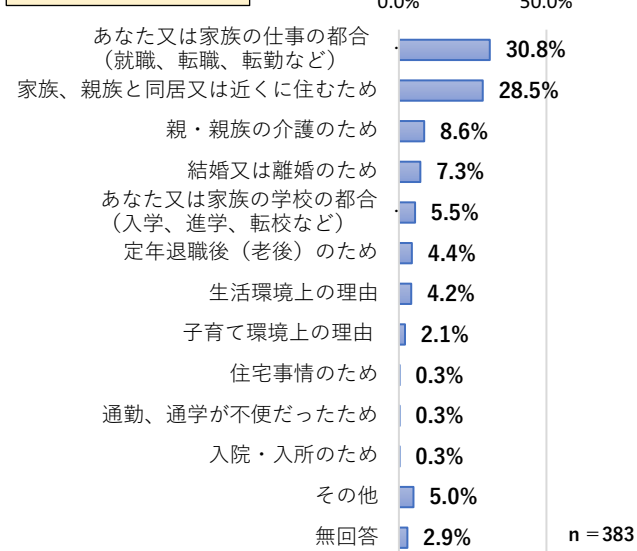
① 町民になった理由 問10 SA

- 「一時町外へ出て戻ってきた（Uターン）」46.8%、「町外出身で転入してきた（Iターン）」23.1%と町外での生活経験がある方が約7割。
- 「生まれてからずっと飯南町に住んでいる」方は約2割。

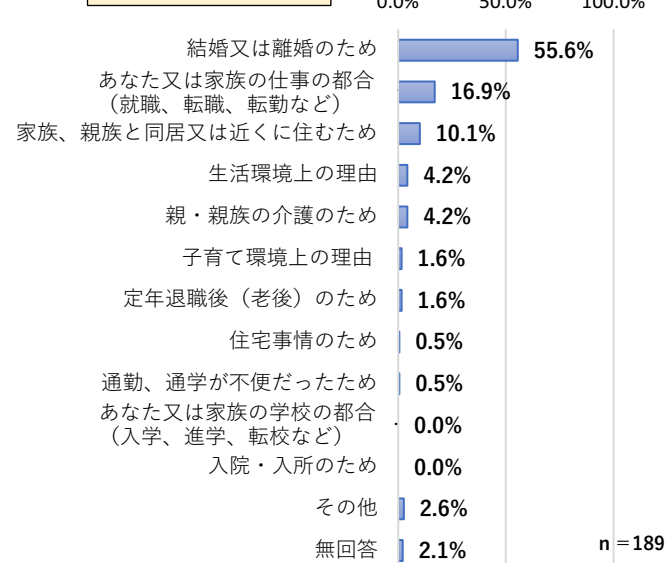


合計	ずっと住んでいる	Uターン	Iターン
全体(N=818)	18.7	46.8	23.1
20代以下(n=29)	37.9	13.8	37.9
30代(n=30)	6.7	46.7	40.0
40代(n=57)	15.8	40.4	38.6
50代(n=93)	8.6	44.1	39.8
60代(n=242)	15.7	55.4	19.0
70代(n=334)	22.8	47.0	17.4
80代(n=24)	37.5	29.2	12.5

Uターナーの帰住理由

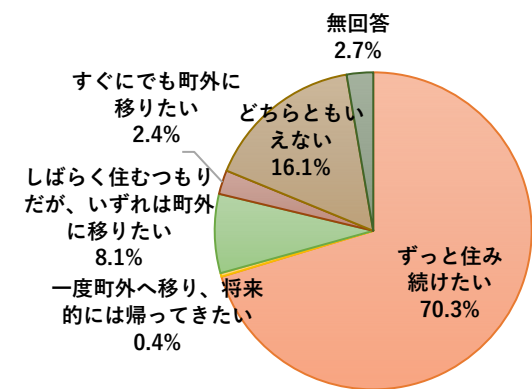


Iターナーの帰住理由



② 今後の定住の意向 問12 SA

- 「ずっと住み続けたい」が約7割。
- 「20代以下」「40代」では、町外への移住意向を持っている方が多く、全体平均の倍以上となっている。
- 若い世代ほど定住・移住に対して明確な意向がない（どちらともいえない）割合が高くなっている。
- 高齢世代ほど定住意向が高い。

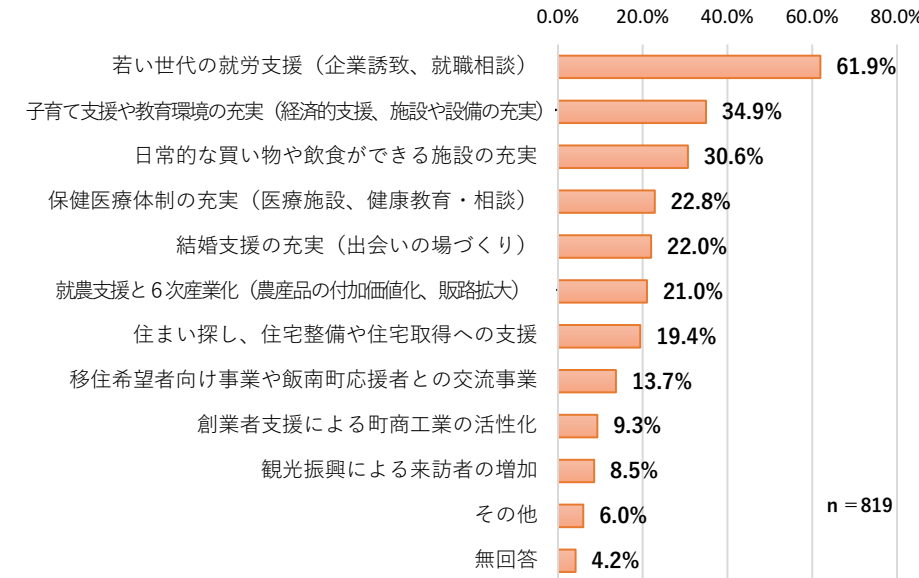


**中高生の定住意向（中学生アンケートより）**  
 中学生では飯南町への定住意向が約4割（「住み続けたい（11.1%）」「また戻ってきたい\*（31.1%）」）  
 高校生では飯南町への定住意向が約2割（「住み続けたい（1.6%）」「また戻ってきたい\*（16.4%）」）  
 ※就職・進学など一時的に離れてもまた戻って来て飯南町に住みたい

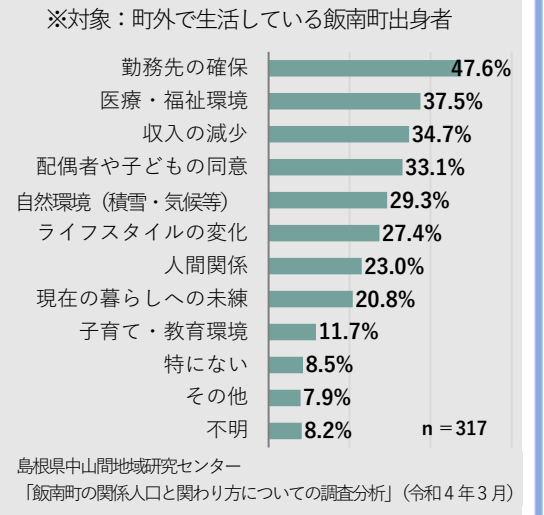
合計	ずっと住み続けたい	一度町外へ移り、将来的には帰ってきたい	しばらく住むつもりだが、いずれは町外に移りたい	すぐにも町外に移りたい	どちらともいえない
全体(N=819)	70.4	0.4	8.1	2.4	16.1
20代以下(n=29)	17.2	6.9	41.4	10.3	24.1
30代(n=30)	66.7	3.3	10.0	0.0	20.0
40代(n=57)	45.6	0.0	19.3	1.8	33.3
50代(n=93)	53.8	0.0	12.9	5.4	25.8
60代(n=243)	76.5	0.0	6.6	1.2	13.6
70代(n=334)	79.9	0.0	3.6	2.1	12.0
80代(n=23)	91.3	0.0	0.0	4.3	4.3

③ 若い世代の移住拡大に向けた対策 問14 MA (3つまで)

- 「若い世代の就労支援」が約6割。
- 中山間地域研究センターによる調査においても生活に気がかりなこととして「勤務先の確保」との回答が多い。
- 「40代以下」の若年層においては、「日常的な買い物や飲食ができる施設の充実」が全体平均よりも高い。



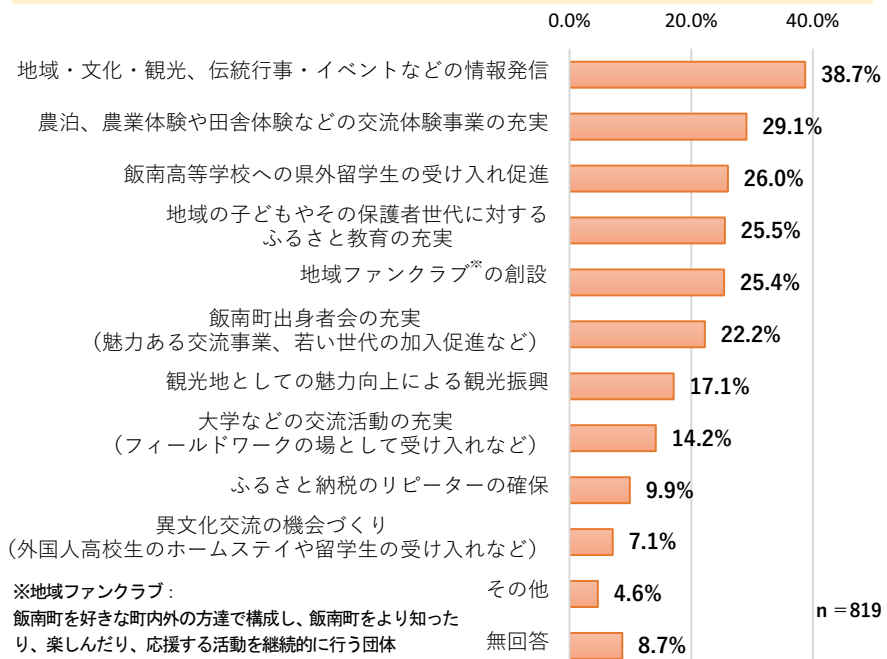
飯南町での生活に気がかりなこと



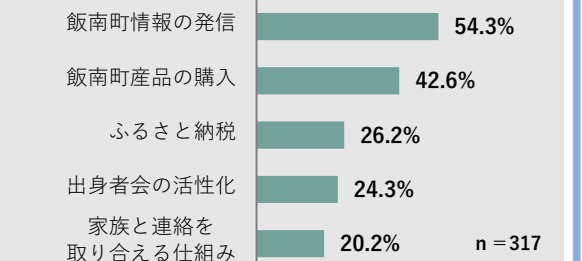
合計	結婚支援の充実	子育て支援や教育環境の充実	保健医療体制の充実	日常的な買い物や飲食ができる施設の充実	若い世代の就労支援	創業者支援による町商工業の活性化	就農支援と6次産業化	観光振興による来訪者の増加	移住希望者向け事業や飯南町応援者との交流事業	住まい探し、住宅整備や住宅取得への支援
全体(N=819)	22.0	34.9	22.8	30.6	61.9	9.3	21.0	8.5	13.7	19.4
20代以下(n=29)	13.8	44.8	20.7	51.7	34.5	0.0	10.3	20.7	10.3	44.8
30代(n=30)	10.0	36.7	20.0	53.3	53.3	6.7	6.7	16.7	6.7	36.7
40代(n=57)	12.3	40.4	29.8	42.1	59.6	8.8	8.8	17.5	5.3	21.1
50代(n=93)	17.2	34.4	23.7	32.3	59.1	10.8	18.3	11.8	9.7	28.0
60代(n=243)	24.3	39.1	20.2	28.0	68.7	10.7	23.0	7.0	12.3	23.5
70代(n=334)	23.1	31.1	24.0	27.5	62.3	8.4	24.0	6.0	17.4	12.0
80代(n=24)	54.2	29.2	29.2	20.8	62.5	16.7	29.2	0.0	25.0	0.0

④ 関係人口拡大に向けた対策 問15 MA (3つまで)

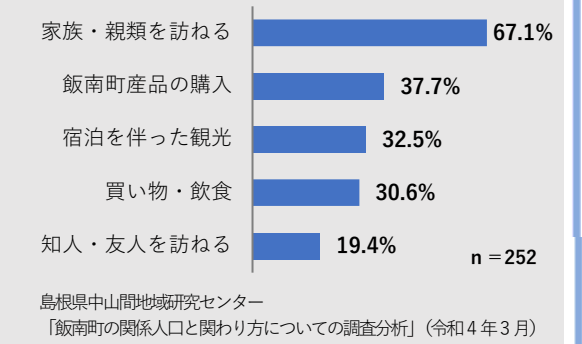
- 「地域・文化・観光、伝統行事・イベントなどの情報発信」が約4割。
- 中山間地域研究センターによる調査では、関わり維持拡大に重要なことや興味・関心がある事柄として「情報発信」の他、「飯南町産品の購入」「ふるさと納税」が挙げられている。



【町内出身者】関わり維持・拡大に重要なこと（上位5位）



【町外出身者】関わり拡大へ興味・関心がある事柄（上位5位）





（3）施策の充足度・重要度について

① 施策の「充足度」と「重要度」の指標化 問22 SA

飯南町総合振興計画に掲げた24の施策について、それぞれの「充足度」と「今後の重要度」を5段階評価でたずねた。

施策の「充足度」と「重要度」をよりわかりやすく分析するため以下のように係数（ウエイト）を設定し、加重平均による指標化を行った。

**【充足度】**  
 「達成している」の件数×2点+「やや達成している」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり達成していない」の件数×-1点+「達成していない」の件数×-2点 ÷（回答者件数-無回答件数）

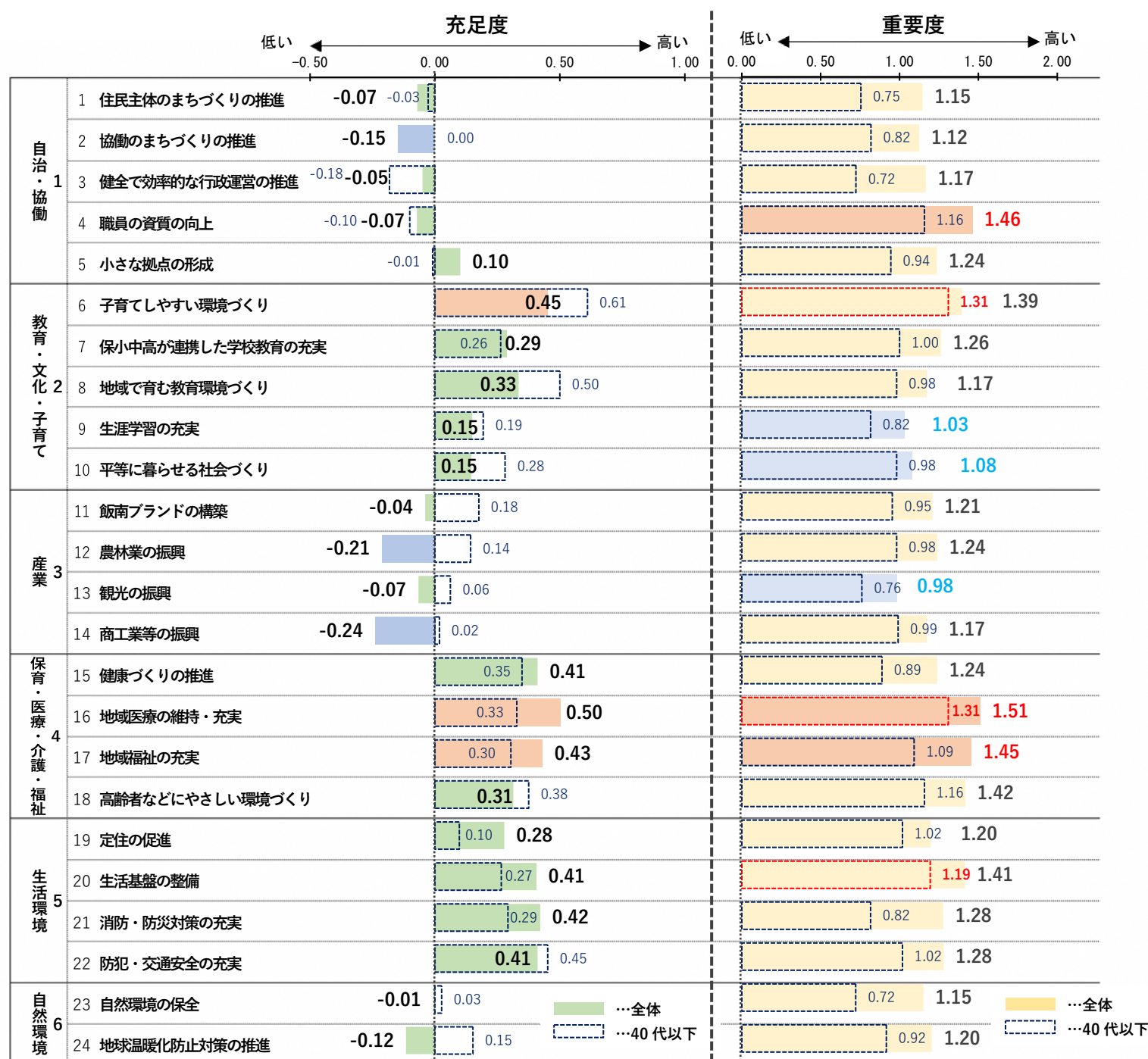
**【重要度】**  
 「重要である」の件数×2点+「やや重要である」の件数×1点+「どちらともいえない」の件数×0点+「あまり重要ではない」の件数×-1点+「重要ではない」の件数×-2点 ÷（回答者件数-無回答件数）

■ 施策の充足度

- 充足度が最も高いのは「16.地域医療の維持・充実」、次いで「6.子育てしやすい環境づくり」「17.地域福祉の充実」
- 充足度が最も低いのは「14.商工業等の振興」、次いで「12.農林業の振興」「2.協働のまちづくりの推進」

■ 施策の重要度

- 重要度が最も高いのは「16.地域医療の維持・充実」、次いで「4. 職員の資質の向上」「17.地域福祉の充実」
- 重要度が低いのは「13.観光の振興」、次いで「9.生涯学習の充実」「10.平等に暮らせる社会づくり」



② 施策の「充足度」と「重要度」の相関図 「充足度」と「重要度」それぞれの加重平均をもとに、縦軸に「重要度」、横軸に「充足度」をとり、24の施策を散布図上に示し、「相関図」として各施策の位置づけを整理した。

- 「重要度」が高いが「充足度」が低く、今後重点化や見直しに「優先的に取り組むべき施策」として、全体では「④職員の資質の向上」、40代以下では、「④職員の資質の向上」に加え、「⑨定住の促進」「⑭商工業の振興」となっている。

